

Q: 土砂搬入業者の現状について

A: 条例の基準を超える土砂の搬入等があった。

今後も監視パトロールを強化してまいる。福塚 実議員



台風21号及び22号の被害について

福塚 人的被害はなかったが、市道大津相谷線が水没、人命に関わる重大な過失につながる事案があった。早くから警報が出ていたにもかかわらず対応ができなかったことを踏まえて対応と対策について伺う。

都市整備部長 市内各地で道路等176箇所多くの災害が起こるなか、それらの災害に対応していたため市道中三号線への対応ができなかった。今後この教訓を生かし、水害のおそれあるときは迅速な対応をしてまいる。

福塚 上野公園総合体育館の電気設備水没は想定外とのことだが、今後移設等検討しているのか。また、その場所での倉庫等の建設は可能なのか。

都市整備部長 現在浸水対策の検討を進めている。建

設予定の防災強化棟については、場所・高さ等を検討している。

JR五条駅前周辺整備について

福塚 現在の取組は。

都市整備部長 県とのまちづくりに関する連携協定である五條中心市街地地区まちづくり基本構想において、円滑な移動空間として駅前広場・周辺道路の整備に取り組むこととなっている。

福塚 現在通勤通学の時間に大変な混雑を目にする。このような状況の改善のためにJR五条駅前をロータリー化する必要があると考えるが、今後の取組は。

都市整備部長 五條高校跡地とJR五条駅を含む公共サービス充実ゾーンの道路整備は、市道岡口三号線と市道旧岡中線を優先事業と考えている。今後新庁舎周辺道路整備の進展の中でロータリーの整備について協

議検討する必要がある。

福塚 地元中心市街地の発展にもつながる事なので、複合的・総合的に考えて取り組んでいただきたい。



土砂搬入業者の現状について

福塚 五條市の条例制定後の状況は。

産業環境部長 表野町において本年1月から3月に掛けて条例の基準を超えた土砂の搬入を確認、黒駒町においても建築関係の機材等の置場としての山林伐採届が農林政策課に提出され、作業開始を確認している。

福塚 最近重機の搬入等での道路の陥没、道路への鉄板移設があり、危険だという近隣住民からのご指摘があったが、市の対応を伺う。

産業環境部長 表野町では条例の基準を超えた土砂の搬入があり、口頭・文書指導を行ったが従わず、撤去措置命令送達後も撤去がなかったため五條警察署に告発、事業者の住所等を公表している。

また、黒駒町では毎日の監視パトロールの中で不法投棄が確認され、12月に奈良県廃棄物対策課と合同での聞き取りの結果、廃棄物と確認されたため、現在県が指導を行っている。

今後も毎日の監視パトロールを強化し、万が一土砂搬入があった場合は厳正に対応、また、県の協力をいただきながら自治会及び警察と連携を密にし、情報提供を行ってまいる。

福塚 今後もさらなる強化を含めてしっかりと行政処分を受けられるような形で対応していただきたいと思うのでどうかよろしくお願います。

Q: 南奈良総合医療センターからの帰りのバスの増便について



A: 平成30年度に1便増便する実証実験を行う。

藤富美恵子議員

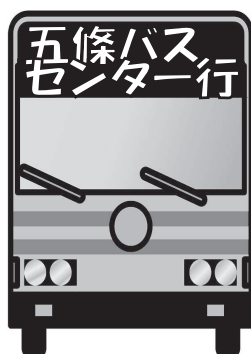
南奈良総合医療センター通 院ラインについて

藤富 最近、市民の皆さんと話をさせていただいた中で一番多かったのは、南奈良総合医療センター（以後、病院）からの帰りのバスの増便である。車に乗れない、車で送ってくれる人もいない中、朝一番のバスで病院に行っても、診察を受け、検査をし、薬をもらっていると、最終の午後3時6分の帰りのバスに間に合わないという声である。そうすると帰りは電車に乗って帰るかタクシーで帰るかどちらかになる。身体はしんどいし、時間もかかるし、お金もかかる。と嘆かれ、多くの方が大変困っていると聞く。

こういう状況の中で、病院からの帰りのバスを午後4時・5時台の2便、増便して欲しいという多くの皆さんの声がある。

1便だと年間120万円、2便増便しても250万円。

年間わずか120万円、250万円の話である。病院からの帰りのバスの増便については、これまでに、市長も市民の皆さんの声を直に聞き、増便の必要性を感じておられることと思う。



市長がやろうと思えば、すぐにでもやれることであるので、是非とも来年度、予算をつけてバスを走らせていただきたいと思う。

市長 確かにアンケートや実態調査でも午後4時以降の増便を望む声がある。厳しい財政状況のなか、平成30年度に向け実証的に午後1便増便していく方向で考えており、その後平成31年度で再度また新たな形を整えていきたいと考えている。

藤富 午後4時台に1便増

便ということではよろしいか。

市長 午後4時以降ということでは、どの時間帯がベストであるのか病院とも調整している。

土日の運行について

藤富 病院行きは土・日のバスの運行について、現在、土・日は病院行きのバスは走っておらず、付添いやお見舞いに行きたくてもなかなか行けずに大変困っているというのが現状である。

五條市は大変不便な町になっている。よその町に引越さずにこの五條市で安心して暮らせる、安心して住み続けられる町にするには、病院行きのバスの充実が最低条件である。土・日のバスの運行についてどのような考えかを伺う。

市長公室長 アンケートで土・日の要望があったことは承知しており、今年度策定した「ゴーちゃん交通計画」において課題としている。

バス停の増設について

藤富 例えば、JR大和二見駅から五條町の間は距離が長く、この区間に以前の様にバス停を作って欲しいという市民の皆さんの声がある。毎日の買い物や通院に停留所が遠く、夏の暑い日、冬の寒い日、雨・雪の日など、大変な思いをしていると聞いている。高齢者の方々にとっては、買い物や病院に行くなど毎日の生活に関わることから、早期に検討し、バスの停留所を設置していただきたい。

市長公室長 高齢者等の交通手段の確保にバス停の設置は重要と考えており、関連部局と連携し、判断してまいらる。



Q: 子育て支援や少子化対策を急ぐべきでは

A: 意見交換会での意見も踏まえ、少人数学級の良さも生かした学校づくりに取り組みたい。

大谷龍雄議員



少人数学級の良さを生かした学校づくりについて

大谷 五條市より人口減少となつている野迫川村や十津川村は、平成29年12月現在の児童・生徒数は、野迫川村は小学校の全児童数が8人で中学校の全生徒数は10人、この間の高等学校への進学は全員です。十津川村は小学校の全児童数は96人で、中学校の全生徒数は67人ですが、高等学校への進学は全員です。少人数学級の良さが表れています。

教育部長 少人数学級について

したがって、学校適正化の名の下での小・中学校の統廃合案を急ぐのではなく、子育て支援や少子化対策を全力で急ぐ必要があるのではないのでしょうか。

いては、先生の目が届きやすい等のメリットがありますが、多様な意見に触れる機会が少なくなる等のデメリットが考えられる。今後の学校適正化では、この間開催した意見交換会でのご意見も踏まえた少人数の良さも生かした学校づくりに取り組みたい。

子供医療費の病院窓口無料化について

大谷 五條市は中学校を卒業するまで、通院・入院費とも医療費は無料であるが、病院窓口では全額支払い、後で自動償還している。償還払いではなく、病院窓口で無料化を行うべきではないか。

厚生労働省も国民の声に押され、平成30年度より未就学児（小学校入学前）までの医療費無料化については、ペナルティをかけないと決定している。

すこやか市民部長 未就学児までを対象に、平成31年導入を目途とする案が、県から示されている。この導入検討案による現物給付方式（病院窓口無料化）の導入等を県に要望する予定になっている。

小・中学校の給食費への助成について

大谷 全国的にも奈良県内でも子供食堂が民間団体の努力で増加しており、奈良県は条件が整えば補助金を支給しています。この状況の下、小・中学校の給食費への助成が全国的にも広がり、無償が約55市町村に、一部補助が約362市町村に広がっています。憲法第26条の「義務教育の無償」に基づき、五條市も給食費の助成を検討することが、少子化対策の一つとして必要ではないのでしょうか。

教育部長 五條市は準要保

護児童・生徒に対して給食は全額補助を行っています。が、全ての児童・生徒を対象とした助成は行っていません。



- その他の一般質問
1. 台風21号による被害への救援・復旧の強化について
 2. 水道料金の引き上げを抑止し市民負担軽減と景気を良くする対策について
 3. 新庁舎建設における当初想定額（約47億円）での建設について
 4. 市民負担の軽減と福祉の充実について
 5. 農林業の振興について
 6. クリーン・オアシスのひび割れ問題の補償について

総務文教常任委員会

12月定例会で本委員会に

五條市立奈良県立五條高等学校賀名生分校寄宿舎設置条例、五條市一般会計補正予算（第6号）の2議案が付託され、審査の結果、採決を行い可決されました。委員会での質疑内容の一部を抜粋してお知らせします。

五條市立奈良県立五條高等学校賀名生分校寄宿舎設置条例について

委員 条例にない詳細な規約等は。
答弁 現在規則等の制定に向け取り組んでおり、条例施行と同時に施行したい。
委員 寄宿舎の部屋数と定員規模は。
答弁 部屋数は学生用33室、管理人室・ランチルームが1室で、定員は33名である。
委員 使用料一人1万2千円と定められているが、1万2

千円で維持管理はできるのか。

答弁 寄宿舎の運営は舎監・備品等の整備がこれにあたる。全体の運営費用については現在精査しているが、生徒の負担は最低限で済むよう配慮したい。

五條市一般会計補正予算（第6号）について

委員 精神保健福祉手帳医療費扶助の補正理由は。
答弁 予算編成時の見込みより利用者の増加が予想以上であったためである。
委員 補助が必要な対象者の情報を事前につかんでいなかったのか。
答弁 対象者全員に個人通知を行い、窓口で未申請の方に申請をしていただいているが、今回の医療費については内科や歯科のほか、冬場の感染症の流行なども影響し、金額が増えたものと考える。
委員 障害をお持ちの方に不自由を掛けない体制づくりをお願いする。

委員 橋梁維持修繕事業・河川維持修繕事業等の事業遅延の理由は。

答弁 10月の台風21号による被災箇所への災害査定対応を優先するなかでの遅延である。

委員 JR大和二見駅前公衆トイレ整備事業の遅延について。

答弁 JR西日本による既存トイレの撤去が予算上今年度実施できなかつたためである。平成30年度にはJRの予算措置ができ平成30年5月中旬にはJRによる既存トイレの撤



(五條市立奈良県立五條高等学校賀名生分校寄宿舎)

去が完了する見通しであり、6月には新設トイレの設計積算入札準備にかかりたい。

委員 みどり園跡地整備事業6億1千万円の内容は。

答弁 現有施設の解体予算で、解体後の汚染物等の確認調査・整地・残置設備の整備工事及びこれに伴う施工管理費である。

委員 新庁舎敷地整備事業に伴う敷地造成工事等4億1,700万円の内容は。

答弁 工事内容の中で敷地南西側に地下埋設型の容量1,680立米の調整池を設置するものである。

委員 調整池の構造と埋設位置は。

答弁 構造は計画通り変えず、埋設位置について隣接する民家への影響を考慮して検討したい。

委員 埋設型調整池のメンテナンス用マンホールに対する安全管理は。

答弁 鍵付きマンホールで設計するなど安全面に留意してまいる。

